

平成22年12月

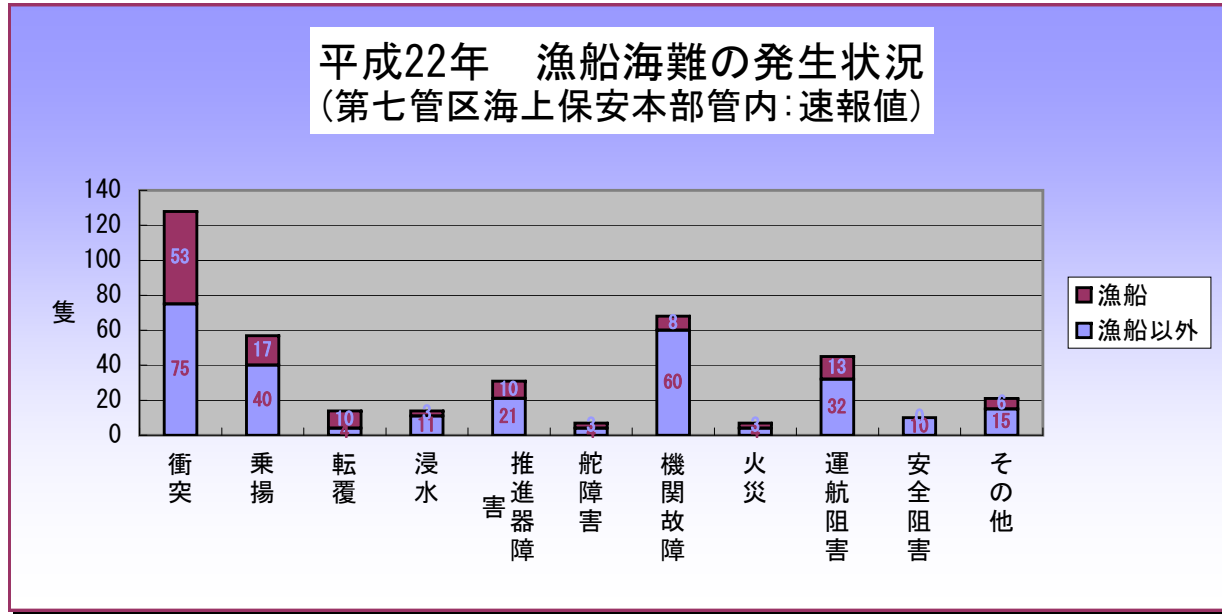
| 漁船海難隻数 (速報値) | |
|-----------------|---|
| 衝突 | 7 |
| 乗揚 | 0 |
| 転覆 | 0 |
| 浸水 | 0 |
| 推進器障害 | 1 |
| 舵障害 | 0 |
| 機関故障 | 0 |
| 火災 | 0 |
| 爆発 | 0 |
| 行方不明 | 0 |
| 運航阻害 | 0 |
| 安全阻害 | 0 |
| その他 | 0 |

合計8隻

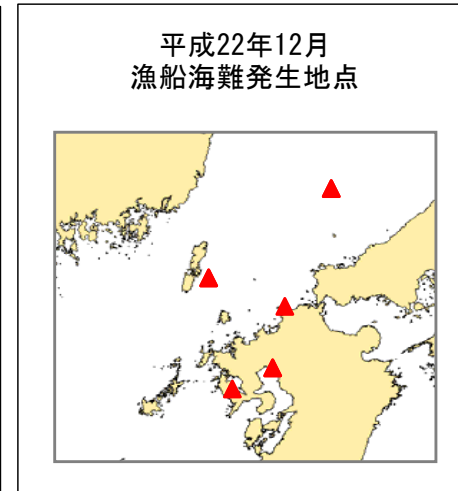
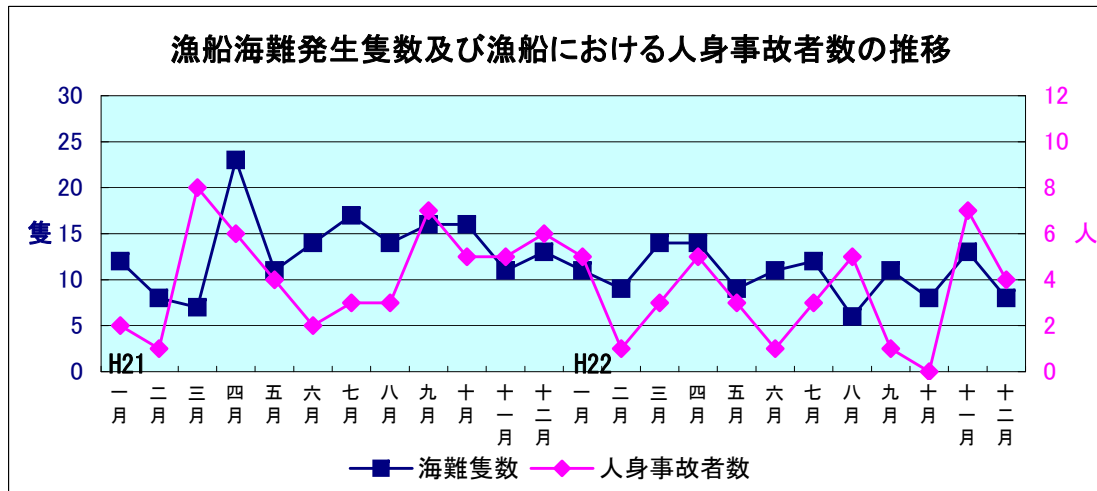
| 県別 (内訳) | |
|------------|---|
| 山口県 | 2 |
| 福岡県 | 3 |
| 佐賀県 | 0 |
| 長崎県 | 3 |
| 大分県 | 0 |

| 漁船人身事故者数 | |
|----------|---|
| 負傷 | 2 |
| 病気 | 1 |
| 海中転落 | 1 |
| その他 | 0 |

合計4名



この表は、海難の種類ごとに漁船が占める割合を表したものです。転覆海難は、漁船海難が全体の約71%と大半を占めており、衝突、舵障害、火災海難も40%を超えています。



平成二十二年の第七管区海上保安本部の漁船海難隻数は、速報値がまとまりました。前年より減少し、二六隻となり、一六三隻から三七隻減少し、二六隻となり、一六三隻が、全海難隻数の四〇二隻のうち、約三十三パーセントを占めており、依然として高い値で推移しています。

漁船海難月報 (速報)
 平成二十二年十二月分
 第七管区海上保安本部

県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。